

ふれあい

成田赤十字病院 広報誌

FREE
ご自由にお持ちください
2016.5 臨時号

熊本地震災害の被災地へ 成田赤十字病院から救護班を派遣！！



少しでも多くの安心感をもてるよう、
被災者の心に寄り添う医師と薬剤師

被災者の話に耳を傾ける救護員



避難所の巡回診療に向かう救護員



地震によって崩壊した家屋

成田日赤に関わる方々との
“ふれあい”を大切に。

〒286-8523
千葉県成田市飯田町90-1 TEL. 0476-22-2311(代)
ホームページ <http://www.narita.jrc.or.jp/>



平成28年4月14日以降、熊本県熊本地方を震源とする最大震度7の地震は、熊本県を中心として大きな被害をもたらしました。

日本赤十字社千葉県支部は、4月19日に成田赤十字病院から第1救護班を、4月29日に第2救護班を派遣しました。

第1救護班の現地での実働期間は、4月20日から22日の3日間で、熊本市や阿蘇市、南阿蘇村などで、救護所の運営と避難所の巡回診療を行いました。救護員は、多くの被災者に声をかけ、不安を抱える被災者にあたたかい手を添えてきました。避難生活を余儀なくされ、行き場のない子ども達も大きなストレスを抱えています。子ども達とも言葉を交わすことで、安心できる時間を作りました。

続く第2救護班の実働期間は4月30日から5月2日の3日間、西原村に設置してある救護所で診療を行いました。救護所には長引く避難生活等で不調を訴える方や被災した家屋の片付けなどでケガをした方が多数訪れました。



子ども達に声をかけ、
安心できる時間を与えます



被災者に手を添え声をかけます

さらに、長引く避難所生活などが原因で、被災者の心労が続いているため被災者のこころのケアが必要です。そこで、当院では、こころのケア班を4月30日より派遣し、被災地のこころのケアのための今後の活動内容を検討しました。

医療救護班の他に、被災地の医療をコーディネートするため、災害対策本部に医師を派遣し必要な救護活動の調査を行いました。

また、熊本赤十字病院では、被害の甚大さに加えて、近隣の医療機関の診療機能の停止等により発災直後から多数の傷病者が来院していました。

災害救護の最前線で懸命の活動を続けている熊本赤十字病院の職員を診療面から支援するため、看護師及び事務職を派遣し、熊本赤十字病院の職員の負担を軽減するため、日常業務を代行しました。

成田赤十字病院の救護活動状況

(5月13日現在)

医療救護班 2 個班
医師 4 名 看護師長 2 名
看護師 4 名 薬剤師 2 名 主事 8 名

病院支援要員 看護師 3 名 事務員 1 名
熊本県支部災害対策本部支援 医師 1 名
こころのケア 医師 1 名 連絡調整員 1 名
→ 派遣延人数 27 名



☆当院の熊本地震災害の救護情報は随時、
facebookで更新しています。是非ご覧ください。

<https://www.facebook.com/narita.jrc.or.jp/>

熊本県地震への義援金募集について

日本赤十字社では、熊本県地震で被災された方々を支援するため義援金の受付を行っております。

被災者支援のために寄せられた義援金については、義援金配分委員会を通じて被災者に配分いたします。

熊本県地震の義援金の受付については、日本赤十字社ホームページ：

<http://www.jrc.or.jp/> をご覧ください。

※日本赤十字社では、現在、物品のご寄付については、被災地の受け入れ体制が整っていないことなどから、取り扱いをしておりません。